

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年7月25日)

- 航空レンジャー養成訓練の実施について 1
(生活安全部地域課)
- 鳥取・島根両県警察合同広域緊急配備訓練について 2
(生活安全部通信指令課)
- 交通事故発生状況(平成25年上半期)について 3
(交通部交通企画課)

警 察 本 部

航空レンジャー養成訓練の実施について

平成25年7月25日
警 察 本 部
(生活安全部地域課)

航空レンジャー養成訓練を、以下のとおり実施しました。

1 目的

災害、山岳遭難等における救出救助事案に的確に対応するため、警察用航空機によるホイスト救助等に従事する要員「航空レンジャー」を機動隊員の中から指名・養成し、適切な連携運用により所要の救助態勢を確立する。

2 訓練参加者

航空隊員4人及び機動隊員(航空レンジャー)6人 計10人

3 訓練実施状況

(1) 基本訓練

○ 日時、場所

平成25年4月10日(水) 13:30~16:30 航空隊及び県消防防災航空センター訓練塔

○ 訓練内容

航空レンジャーの任務、航空機の概要、個人装備品、救助用資機材の取扱要領等

(2) 地上実技訓練

○ 日時、場所

平成25年6月10日(月) 13:30~17:30 航空隊及び県消防防災航空センター訓練塔

○ 訓練内容

個人装備品の装着、自己確保、ホイスト上昇・降下要領等基本的な活動要領



(訓練塔での実技訓練)



(機体での実技訓練)

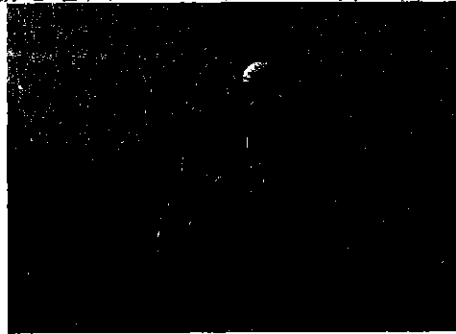
(3) 飛行実技訓練

○ 日時、場所

平成25年6月14日(金) 13:30~16:30 鳥取空港内訓練エリア

○ 訓練内容

新警察ヘリ「さきゅう」に搭乗し、活動現場を想定したホイスト上昇・降下要領



(ホバリング中の「さきゅう」からホイスト降下する航空レンジャー)

4 今後の計画

定期的に地上及び飛行実技訓練を行い練度を向上させるとともに、必要な救助用資機材を整備し、本年内の本格運用を目指す。

鳥取・島根両県警察合同広域緊急配備訓練について

平成 25 年 7 月 25 日
警 察 本 部
(生活安全部通信指令課)

鳥取・島根両県警察合同広域緊急配備訓練を、以下のとおり実施しました。

1 目的

重大事件発生時における両県警察の連携の強化を図るため

2 実施日・場所

- (1) 平成25年6月21日(金)午後1時30分から午後3時30分までの間
- (2) 鳥取県西部・島根県東部の中海圏域

3 訓練体制等

(1) 参加所属

鳥取・島根両県警察本部通信指令課、高速道路交通警察隊、機動捜査隊、機動通信課、鳥取県警察本部自動車警ら隊、交通機動隊、航空隊及び関係警察署(鳥取県八橋・米子・境港・黒坂警察署、島根県松江・安来警察署)

(2) 参加人員等

- 鳥取県警察 人員42人、車両13台、ヘリコプター1機
- 島根県警察 人員40人、車両15台

4 訓練想定

島根県松江市内で、DV事案に起因する逮捕監禁事件が発生し、犯人が車両で逃走したことから、島根県警察が鳥取県警察に広域緊急配備を要請

両県警察では、県警ヘリコプター、警察車両を出動させ、連携の上、鳥取・島根両県下を逃走する犯人の検索、検問等を実施し、島根県安来市内において犯人を捕捉逮捕

5 訓練結果

- (1) 事前に訓練内容を教示しないブラインド方式で実施したが、訓練全体を通して概ね良好であった。
- (2) 両県警察の無線系統による捜査情報の共有と指揮・手配が効率的に行えた。
- (3) 航空隊のヘリ映像により、逃走車両の逃走状況が明瞭に確認できた。

【犯人の犯行状況】



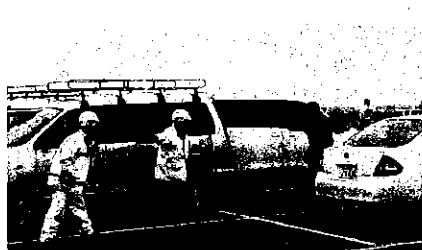
【境港警察署での指令状況】



【米子警察署での指令状況】



【犯人との対峙状況】



【犯人の制圧逮捕状況】



【犯人の身体搜検状況】



交通事故発生状況（平成25年上半期）について

平成25年7月25日
警察本部
(交通部交通企画課)

平成25年上半期の交通事故発生状況は、発生件数及び負傷者数が前年と比較して9年ぶりに増加し、高齢死者の割合が依然と高い状況であり、以下のとおり報告します。

1 発生状況

(1) 県下の状況(各年6月末)

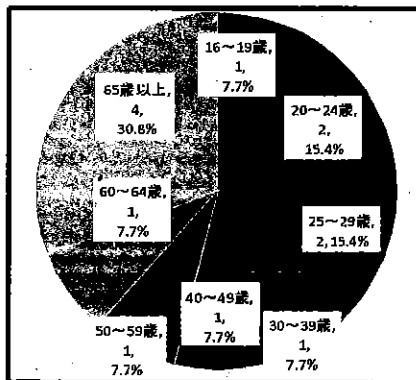
| | 発生件数 | 死者数 | 負傷者数 |
|-------|------|-----|------|
| 平成25年 | 641 | 13 | 817 |
| 平成24年 | 640 | 14 | 753 |
| 増減数 | 1 | -1 | 64 |

(2) 全国・中国管区の死者数(各年6月末)

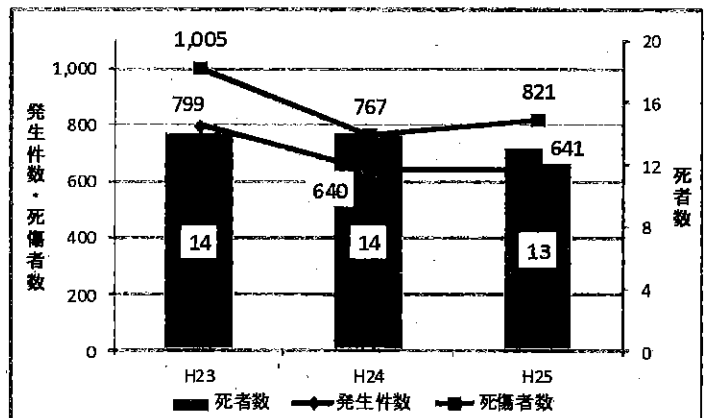
| | 全国 | 中国管区 |
|-------|-------|------|
| 平成25年 | 2,004 | 165 |
| 平成24年 | 1,934 | 161 |
| 増減数 | 70 | 4 |

2 交通事故の特徴

(1) 年齢層別死者数



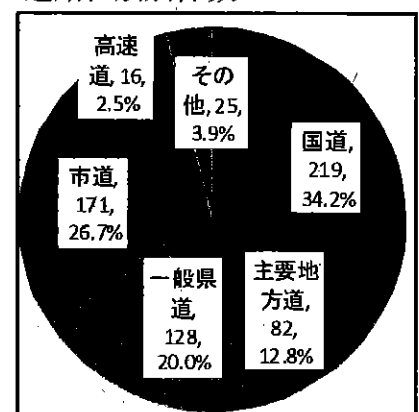
(2) 交通事故発生件数・死傷者数の推移(各年6月末)



(3) 曜日別発生件数

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 発生件数 | 80 | 86 | 95 | 83 | 85 | 113 | 99 |
| うち死亡事故 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 6 | 1 |
| 構成率 | 12.5% | 13.4% | 14.8% | 12.9% | 13.3% | 17.6% | 15.4% |

(4) 道路種別別件数



3 下半期に向けた交通事故抑止対策

(1) 高齢者安全対策の推進

例年、下半期においては、高齢者による交通事故が増加することから、被害・加害者両面からの高齢者安全対策を推進する。

(2) 週末及び幹線道路における交通安全対策の推進

発生件数及び死亡事故件数とも、金曜日を中心とした週末に多発し、また、国道及び県道において交通事故が多発していることから週末及び幹線道路における交通安全広報及び交通指導取締りを強化する。

(3) 関係機関・団体との連携強化

自治体・交通関係機関との連携を密にした広報啓発活動を推進する。

